

## 第2節 ベトナム (Vietnam)

上別府隆男

### 1. 単位制度、成績評価制度等に対する政府の規定・認証評価活動

#### (1) 国全体の高等教育制度の概要

21世紀初頭、グローバル化の動きはベトナムの教育制度に好機と難題をもたらした。教育はベトナム国家の発展において重要な役割を果たす事が確認されたのみならず、同国内における社会的、経済的な発展政策においての最優先項目となった。従って、ベトナムの教育制度は規模と品質の両面で急速な発展を遂げた。ベトナムにおける教育の発展に（付随する）のが管理運営上の諸問題である。特に学習単位制度の適用と、高等教育における評価方法の向上が挙げられる。

高等教育課程は、准学士、学士、修士、博士授与課程を指す。准学士課程は、分野によるが、後期中等教育修了者には2-3年間かかり、中等教育の職業訓練課程修了者には1.5-2年かかる。学士課程は、中等教育修了者を対象とし、分野によるが、4-6年間かかる。修士課程は学士課程修了者を対象とし、1-2年間かかる。博士課程は、修士課程修了者を対象とし、4-5年間かかる。ベトナム教育訓練省（Ministry of Education and Training:以後「MOET」）の定める規則に則り、これらの期間は延長される場合がある。

最近では共同教育課程（cooperate program）という、修学年限は5年で2つの学科又は大学に同時に在籍し、卒業時に2つの学位を取るものがある。過去にあった事例を挙げると、ある学科の成績優良者が異なる学科の入学試験に合格した場合はその学科の講義に出席する機会が与えられ、もし両方の要件を満たせば2つの学位を取ることができるというものである。2つの学士課程に同時に在籍するための条件は、(1) 2つ目の教育課程は一つ目の専攻科目とは同一ではないこと、(2) 学生が1年次の第1学期を終えていること、(3) 1つ目の教育課程の学業成績が悪くないこと、である。もし2つ目の教育課程の成績が芳しくなければ、学生は次の学期から履修することはできない。

これらの教育機関、課程とは別に、国の教育制度として継続教育がある。この制度は、生活の質の改善や、日々変わりゆく社会の需要への対応、また、より良い雇用を求める被雇用者、社会人を対象に、個人、知識、技能の向上を主とする生涯学習の場を提供する。ベトナム政府は生涯学習、全ての人への教育、そして、学びの社会を推進する方針を制定している。

ベトナムの教育制度は主に公立、人民主導、私立の3つに分類することができる。公立の教育機関とはベトナム政府により設立されたもので、インフラ、設備、経営諸費用に対し経済的な支援を受けている。人民主導の教育機関は、各コミュニティーにより設立、支援されている。私立の教育機関は何らかの社会的、職業的、経済な団体や、一個人によって設立、支援されている。ベトナム政府は公立教育機関が同国の教育制度の中核を担うことができるよう支援している。その他にも、少数民族出身の生徒を対象とした全寮制、半寮制の学校や、恵まれない環境にいる生徒を対象とした大学入学予備校、障害のある生徒を対象とした特殊学級や特殊学校、また非行少年、少女を対象とした更生施設もある。

ベトナムにおける、教育年度は9月始まりとなっているが、高等教育機関である大学や短期大学は大抵8月始まりである。第1学期は1月上旬に終了し、2月から5月までが第2学期となる。一般の大学は前期・後期の2期制で、各15週間で構成されている。その他、ハノイ工科大学のように6月から7月の5週間にわたる夏学期(summer semester)を含む、3期制のところもあるが、夏期講習を開講している大学は少ない。

## (2) 単位制度の概要

1993年からベトナム国内にある複数の大学で単位制が試験的に実施された。2001年6月30日に単位制度を教育課程、試験、そして卒業といった項目において試験的に導入することが決まり、MOETは「単位制度による教育課程に関する規則(Regulations for training according to credit system) (43/2007/QD-BGDDT)」を2007年8月15日に発表した。

ベトナムでは、厳しく系統立てられた教科中心型に替わるものとして単位制度が徐々に取り入れられている。従来の教科中心型では、学生は同じ教育課程に入ると、課程を修了するまでのカリキュラムは全員同じものであった。新しい単位制度では、各科目には単位数が定められていて、卒業するためには学生は規定の単位数を満たす必要がある。この制度では、1単位は15週間の学期(semester)にわたり毎週講義1時間、自習1時間で構成されている。この制度を導入する理由は、世界の教育状況に対応する意味で二つある。学生に専門分野以外の学問をより柔軟に学ぶことができるようにすること、そして学生の他教育機関への移動や他大学での受講を可能にすることである。政府の単位制度の規則に従い、大学や短期大学はそれぞれの教育課程を対応させている。

理論的には、学生はこれらの大学間であれば選択科目(electives)を受講することが可能であり、その単位は互換して認めてもらえるというものである。しかし現実には、ほとんどの大学では選択科目は開講されておらず、教授も割り当てられていないので、単位は大学間で互換されていない。加えて、現在ベトナムの単位制度ではたとえ専門分野との関連がある科目であっても、同じ大学内の異なる学部の授業を受講した場合は単位を得ることができない。そしてベトナムにおけるほとんどの大学では、選択科目の必要単位数は必修科目と比べて少ない。これは、たとえカリキュラムには選択科目と表記されていても、選択科目の数が元々少ないために事実上は必修科目と同じ状況になっている場合があるということである。これが、同じ教育課程の学生であれば、卒業までずっと同じ科目をとることになってしまっている理由でもある。

MOETによる規則は、卒業に必要な最低単位数を次のように規定している。「6年制大学では180単位、5年制大学は150単位、4年制大学は120単位、3年制の短期大学は90単位、そして2年制の短期大学では60単位をそれぞれ最低単位とする。大学、および短期大学の学部長がそれぞれの教育課程に応じて取り扱う知識量を決めることとする。」卒業に必要な単位は、大学、学部、そしてコースによって異なる。例えば、ベトナム国家大学ハノイ国際外国語大学では一般コースでは140単位、「優等」課程(“high quality” course)であれば155単位、そして英語と経済の「ダブル・ディプロマ(“double diplomas”)」のコースは155単位が必要である。ハノイ工科大学では、卒業に必要な単位が一番少ないのが外国語の165単位であり、他の分野では170から180単位が必要である。

大学院課程の修士課程については 53 単位だが、博士課程の修了は研究の完成、発表、評価に基づくので、学習単位数制度の適応外となる。講義参加の代わりに、博士候補学生は独自の研究の実施、そして論文の発表が必要とされている。各授業の単位数はコースカタログと時間割表に記されている。各授業の単位数は「オンライン上の」コースカタログ、またはウェブサイト上の時間割に記されている。<sup>1</sup>単位数はシラバスに記されており、成績証明書においても学習の証明として記されている。

基本的に学士課程の 1 単位は 1 学期間の講義 15 時間に相応する。これは大学院の修士課程、そして博士課程でも同じである。ベトナムでは勉強量に学内の講義だけではなく自習も含まれている。一般的に年間 60 単位が全日制の勉強量となっており、その配分は 2 期制であれば前期・後期にそれぞれ 30 単位、3 期制であれば 20 単位ずつとなっている。ただ、交換留学生や訪問学生の場合は一学期間にとる単位数が普通の学生より若干少なく受講するのが一般的である。

MOET の規則「単位制度による教育課程に関する規則 (Regulations for training according to credit system) (43/2007/QĐ-BGDĐT)」によると、学習単位制度の概要は以下のとおりである。

大学における高等教育カリキュラムは学習単位制度に基づいて構成される。このカリキュラムは、一般教育と専門教育の 2 つの課程から構成される。大部分の授業は、1 学期間の開講期間に対し、2 から 4 の学習単位を必要とする。各講義の内容は受講対象の学生の学年相応である。全ての講義は、大学側が定めた方針に沿う。講義の性質については、必須と自由選択の 2 種がある。必須の講義では各課程に必要な知識を主に学び、自由選択の講義はこの知識を補い、多様化する役割を担う。また、学生は学習単位を取得するに当たって、各々の関心と興味でこれらの講義を選択することも可能である。

学習単位は学習の量 (workload) を測るのに用いられる。1 単位は講義時間 15 限分、または 30 から 45 限分の実習、実験、議論、また、45 から 90 限分の研修、また、45 から 60 限分の論文作成に値する。学習単位を取得するには、更に、学生は少なくとも 30 時間の自主学習をしなければならない。MOET のカリキュラムは、各講義を修了するのに必要な授業時間数を定めており、1 授業時間は 50 分間である。

また、学部課程、大学院課程をそれぞれ修了するのに必要な学習期間も政府によって定められている。学部課程においては、医学部は 6 年間、それ以外の学部では 4~5 年間としている。大学院課程においては、修士課程では 2~3 年間、博士課程には最低 4 年間の学習を必要とする。1 学年度は 2 つの学期により構成されており、それぞれ 15 週間にわたる。また、各学期につき 3 週間の期末試験期間が設けられている。

各学期に取得しなければならない最低限の学習単位も、政府によって明確に定められている。成績が平均を上回る学生に対しては一学期につき 14 単位、前学年度の成績が平均を下回る学生については一学期につき 10 単位としている (課程修了の最終学期は除く)。夏期講習を行っている機関については、この夏期学期における最少、最大単位数は定められていない。各講義において落第点である F の評価を得た学生については、合格点が得られるまで再履修しなければならない。

一学期修了に際して、取得した学習単位数により、学生は相応の学年に配置される。

第一学年：30 単位未満

第二学年：30 から 60 単位未満

第三学年：60 から 90 単位未満

第四学年：90 から 120 単位未満

第五学年：120 から 150 単位未満

第六学年：150 単位以上

### (3) 成績評価制度の概要

ベトナムの教育制度における学術的評価は 10 点満点制のシステムで表わされる。通常の合格点は 5 である。MOET は単位制度による教育課程に関する規則において、成績と評価の定義を明確にしている。テストと試験は 10 点満点で採点される。最終判定は採点項目のすべての点数の総合計算によって算出され、その後 A から F までのアルファベット表記の成績評価制度に従い下記のように変換される。

合格

A (8.5 – 10) 優秀

B (7.0 – 8.4) 優良

C (5.5 – 6.9) 並

D (4.0 – 5.4) 平均以下

不合格

F (4.0 以下) 不良

必要に応じて大学は GPA 評価を下記の様に行うこともできる。

A は 4 相応

B は 3 相応

C は 2 相応

D は 1 相応

F は 0 相応

成績評価は通常、講義受講、授業参加、論文執筆、または筆記試験によって審査される。試験範囲においては授業内容のみに限らず外部の研究を含めることもある。授業によっては一学期間につき週 2 時間の講義時間を設けるが、他の授業では週数時間の講義をより短い期間開講している。また、一部の授業では合格、不合格判定のみの評価をしている。不合格の授業においては成績表上には記録されない。

合格基準を満たした単位は、アルファベット表記の成績評価制度に従い最終評価が与えられる。単位数と評価の平均値が学習単位の最終評価となる。

学生の評価は教員に一任されている。全ての大学と高等教育機関においてその講義を受講している学生の全体的な成績の分布に関係なく、絶対的評価がなされている。

一般的に授業の学習目標はシラバスに明記されている。原則として教員はこの学習目標

を基準に学生を評価する。ほとんどの場合、学生が学習目標として設定された知識と技能をどれほど示すことができるかが評価の対象となる。

期末試験後、成績の最終判定を提出するため、教授には産業芸術大学 (Industrial Art University) では一週間、ハノイ工科大学 (Hanoi University of Technology) では二週間、ベトナム国家大学 (Vietnam National University) では三週間の猶予が与えられる。教員はこの作業に通常一週間から四週間をかける。しかし、提出期限が守られなかった場合において言及する規則はない。大学によっては、このような遅延は学年度末の教員の評価の対象となる。しかし、その他の大学においては遅延の場合も何ら罰則が与えられないため、これらの事務的な期限は職員によって喚起される。

ほとんどの大学において学部生向け、学院生向けプログラムの評価基準に違いはない。しかし、少数の大学においては多少の相違が見受けられる。例として、GPA (Grade Point Average) が MOET の Regulation on credit system で紹介されている。

GPA 点を算出するにはアルファベット表記の成績評価を数値化する必要がある。それぞれ、A は 4、B は 3、C は 2、D は 1、そして F は 0 とする。GPA は、下記の式に則って計算する事ができる。

$$A = \frac{\sum_{i=1}^n a_i \times n_i}{\sum_{i=1}^n n_i}$$

A は一学期間の GPA を、

$a_i$  は授業 i の成績を、

$n_i$  は授業 i の単位数を、

$n$  は履修授業の総数を表す。

GPA は学生の最終成績や奨学金などを判断するために使われる。GPA は学生の就職や進学に重要な影響をもたらす。

ベトナム国内の大学と単位互換における連携体制をとっているのはごく少数の大学に限られている。多くの場合においてこれらの大学は共通の成績評価制度を採用している。例として University of Foreign Languages and International Studies と University of Economy は両校とも Vietnam National University のハノイ校の成績評価制度を採用しているため、単位互換の際にも問題は生じない。

留学プログラムにおいては、成績評価の基準は各事案によって異なる。一般的に取得単位は講義名、単位数と、授業時間数が二大学間で類似、または一致する場合に認められる。インターネット上にホームページを有する大学においては、成績評価制度がホームページ上に開示されている。また、この成績評価制度は大学の訓練規則 (Training Regulation) に記載されている。

一般的に、シラバス上には成績評価の基準は説明されていないが、課題の性質と比重が示されている。以下の表 1 は University of Languages and International Studies 大学、English Language Teaching Methodology Division 学科における Pedagogical Techniques の授業のシラバスの一例である。



表1 Pedagogical Techniques の授業のシラバスの一例

性質	成績の比重	課題	目的
教育実習	80%	各教育実習生は30分間の授業を、レッシンプランニング、学習の分配、指示や助言を与える、生徒を意欲づける、立ち振る舞い、黒板の使用、言語学習の教鞭、などの要素を取り入れて行う。	教育実習生の言語学習についての知識を教室内で発揮する技能の判定。
ピアによる判定	20%	教育実習生はワークシートに基づき、クリティカルに、また、建設的に他の教育実習生の授業内容を審査する。	教育実習生の観察力と、判定力の審査。

MOET の「単位制度による教育課程に関する規則」によると、成績評価制度の概要は以下のとおりである。

各講義の基準に従い、最終評価が下記の方法のいずれかによって算出される。

- ・口頭試験。この結果はその講義全体の最終評価に用いられる。
- ・発達的評価。学生の授業参加の度合い、課題の出来、期末試験の結果などを総合的に考慮したもの。期末試験結果の比重は50%未満でなくてはならない。

どちらの方法を用いるかは学長の承認を受け、シラバス上に明記される必要がある。発達的評価法を用いる場合、各講義を担当する教授は、必要な課題、プロジェクト、や試験などを構成する必要がある。期末試験の内容は、各学部所属の教員で集団的に構成される。

#### 卒業と認定に関する条件

前記の所定の単位数を取得し、全課程においての GPA が 2 以上の学生においては卒業の際、下記の順位付けがなされる。

優秀： GPA が 3.6 以上 4.0 未満

優良： GPA が 3.2 以上 3.6 未満

良： GPA が 2.5 以上 3.2 未満

平均： GPA が 2.0 以上 2.5 未満

#### (4) 学生交流、単位互換等に関する概要

単位互換制度は、互換にあたっての基準を全て満たした場合のみ承認される。1 大学内での単位の移動は比較的簡単であるが、複数の大学間での移動は慎重な審査を必要とする。出身校と受け入れ校が共に同一の学科を有し、更に両校による認証を受けなければならない。更に、学生は下記の条件を満たさねばならない。

- ・学生の大学入学試験の結果が編入先の大学に入学するのに必要な点数を満たしていること。
- ・学生が第1学年に在籍していないこと。
- ・互換できる単位の上限や下限は、政府によって規制されていない。

学生が海外の大学で単位を得た場合、ハノイ工科大学をはじめとする多くの大学ではその互換はまだ認められていない。また、認められている大学でも、学部や専攻によって対応は異なる。ベトナム国家大学ハノイ国際外国語大学の場合、中国の大学で1年間学んで単位を得た場合はベトナムの大学に在籍していた他の学生と同じように卒業することが可能である。

ほぼ全てのベトナムの大学において、いまだに海外の教育機関からの単位互換に関する規則が確立しておらず、単位互換のプロセスはケースバイケースである。

ハノイ工科大学 (Hanoi University of Technology) が科学研究と研修プログラムにおいて国外の100以上の大学、機関、企業と協力体制にある様に、外国語で講義される国際的な学位課程は存在する。対照的に、いまだ多くの大学において国際的な研修制度の設置は困難である。

#### (5) 認証評価システムの概要

現時点では MOET が政府機関を代表して、各大学が行っている学習単位制度、単位互換制度を審査している。認定制度が将来更に普及した際には、認証機関が MOET を代行してこれらの審査をする予定である。審査にあたり、各大学は先ず自己査定を行い、その結果を MOET に提出する。その後、MOET が外部審査を実施する。これらの教育機関の数の増加により、MOET は審査を必要とする機関の10%程度の大学にしか外部審査を行えていない。残る被審査機関については、近年中に審査をするとしている。外部審査団体は、MOET の QA 専門家、海外の専門家、国内の大学の QA 専門家で成り立つ。MOET は独立した認証機関の設立を斡旋していて、2010年か2011年までにはそのような団体が3つ設立される予定である。

ベトナム国内で有名な大学において学習単位制度は4年ほど前から使われている。しかし、いまだに多くの比較的新しい教育機関においては学年度制度から学習単位制度への移行が始まろうとしているばかりである。従って、大学間に学習単位制度と評価制度の成熟の差が表れる。学習単位制度はベトナム政府により2007年に定められた規制であるにもかかわらず、実際に多くの大学でこの動きが広まったのはごく最近である。MOETにより、2010年末までに全ての大学機関において学習単位制度を利用することが決定され、また、外部の審査を受ける事を斡旋している。来る数年の内、ベトナムは学習単位、評価制度、単位編入、認定などの面において完全なる変貌を遂げるであろう。

学習と教育の質はあるべきレベルを下回り、教育における品質維持は未だ貧弱である。また、財政面においても依然重大な問題がある。修士号、博士号を有する教員の割合は低く、大学入学者は経済学部や商学部など一部の学部に集中する傾向にある。

成功した新興国としてベトナムは急増化する大学入学者と教育の質保証とのジレンマに直面している。同国において単位制度は学位課程修了へ向けての事務的な手段でしかない。単位制度がより有益なものとなるには大学経営者達が同制度の目指す教育的な展望を明白にする必要がある。大学教育レベルにおける一貫した方針を確立せずしては、ベトナムの多くの大学経営陣にとって単位制度は現行の制度に対する脅威にすぎない。単位制度は大学やその学生に何の具体的な利益ももたらさない、単なる外来の基準に基づく改革と受け取られるであろう。

## 2. 各大学の事例紹介

### (1) University of Technical Education Ho Chi Minh City

#### 1) 背景

University of Technical Education Ho Chi Minh City (UTE) は技術教育委員会がのちに発展したもので、1962年10月5日に設立された。同校は14学部を有し、学部課程、大学院課程を開講している。

#### 2) 学習単位制度

UTEでは2学期制に則り、第1学期を9月から1月上旬まで、第2学期を2月から5月まで開講している。学部課程を修了するには4から4.5年間、学院課程を修了するには2年間を最低限必要とする。学部課程を修了するには4年間の場合、最低限210単位、4.5年間の場合240単位必要とする。必修科目については平均的に150単位を必要とし、自由選択の科目は60単位である。

1講義に対しての最も一般的な単位数は3-4である。これに関しては学科間の違いはない。単位数は授業時間と課題の量によって定められる。新設の講義の単位数は教育省の基準によって定められる。審査の際に考慮される項目は授業、議論、そして研究である。

現時点まで、海外の大学から単位を編入した学生はいない。同校が開講していない種の講義の単位編入は認める方針にない。単位編入については、学科間に違いは生じない。全ての事案において大学が定めた基準に従わなくてはならない。

各講義に必要な単位数はコースカタログとシラバスに明記されている。各講義の単位数は同校のウェブサイト上にはまだ掲載されていない。下記のリンクより単位数を明記したシラバスの一例をみることができる。<sup>2</sup>この例は電気電子工学科の電子学、テレコミュニケーションテクノロジー学専攻のものである。

#### 3) 評価制度

学生の評価は0から10までで示される。その中で、9-10点は優秀、8-9点未満は優良、7-8点未満は良、6-7点未満は平均上部、5-6点未満は平均、4-5点未満は弱、4点未満は落第となる。大学は「絶対評価」の制度を使用し、受講学生の全体的な成績の分配は考慮の対象外である。

教員は各講義を受講することによって期待される学習的結果を明記することを大学側から求められている。しかし、学生の成果の評価の対象は単に中間試験や期末試験の結果に留まることが多く、学生が真の意味でその授業から得た知識や技術を発揮、反映できるかは見過ごされがちである。同学は教員に最終評価を提出するために期末試験後の2-3週間を与える。この期間内に最終評価が提出されない場合は学長の判断によりしかるべき対応が取られる。同学はGPAシステムを使用しない。よって、GPAは学生の就職活動や、進学に大きな影響を及ぼさない。学部生は1-10点の点数制度で、大学院生はレターグレーディングの制度で評価される。

現段階では同学はベトナム国内における他の大学と連携協定を結んでいないが、イギリスのHeriot Watt UniversityやSunderland Universityの様に、海外の大学とは協力体制にある。



評価制度は同学のウェブサイト上で説明されている。<sup>3</sup>しかし、シラバス自体は評価制度について言及していない。

## (2) An Giang University

### 1) 背景

An Giang University は 1999 年 12 月 30 日に設立された。同学は 6 の学部課程の学科を有する。現時点までに 5500 の学生が同学から卒業している。国外からは、ラオス人身の学生が 5 人、カンボジア出身の学生が 7 人在籍している。大学内には国際開発事務所があり、学生に留学制度を提供しているが派遣先の大学での単位を編入することはできない。現段階では英語教育学の学部課程の授業を除き、外国語で開講されている講義はない。

### 2) 学習単位制度

同学では 2 学期制を取っていて、第 1 学期は 9 月から 1 月にかけて、第 2 学期は 2 月から 5 月にかけて開講される。学部課程を修了するには 4 年間の在籍が必要とされる。学部課程を修了するには最低限でも 130 の単位数が必要とされる。卒業するのに必要な必須科目の平均的な履修単位数は必要な単位数総数の 3 分の 2 に値する 87 で、自由選択の授業に至っては 43 単位である。一つの講義に対する一般的な単位数は 3-4 で、これは学科間によって変化しない。

学習単位数は授業時間と、課題そのもの量によって算出される。新設される講義の単位数は教育省の基準によって決定される。審査の際に考慮される項目は授業、議論、そして研究である。

現時点まで、海外の大学から単位を編入した学生はいない。また、海外の大学からの単位編入について、同校はまだ定まった方針を表していない単位編入については、学科間に違いは生じない。全ての事案において大学が定めた基準に従わなくてはならない。

各講義の単位数はコースカタログ上にて確認可能だが、同校のウェブサイト上には未だに記載されていない。また、各講義の単位数はシラバス内にも明記されている。下記のリンクは経済学、経営学科の国外経済学のシラバスの一例である。<sup>4</sup>

### 3) 評価制度

学生は A から F までのレターグレーディングによって評価される。8.5 から 10 点が A、7 から 8.5 点未満が B、5.5 から 7 点未満が C、5 から 5.5 点未満が D、それ以下が F に匹敵する。大学は「絶対評価」の制度を使用し、受講学生の全体的な成績の分配は考慮の対象外である。前記の大学 2 校のように、教員は各講義を受講する事によって期待される学習的結果を明記する事を大学側から求められている。講義の目的はシラバス上に明記されているにもかかわらず、実際の学習の評価は学生の成績のみを対象として行われる。

教員は期末試験後の 1-2 週間以内に大学の期末試験事務局に結果を提出することが求められている。この期間内に最終評価が提出されない場合は学長の判断によりしかるべき対応が取られる。同学は GPA システムを使用しない。

現段階で、同校は学部課程のみの開講であるので、学院課程との比較審査を行うことができない。

An Giang University は Hue Univeristy, University of Social Sciences and Humanities, Dong Thap University と共同教育的課程の協定を結んでいる。An Giang University は提

携校の評価制度に則って評価する。

An Giang University の評価制度は、同校のウェブサイト上に掲載されている。<sup>5</sup> シラバス自体は評価制度については言及しない。

#### 国際的なカリキュラム、国際研究プログラム

現段階では An Giang University はいかなる国際的なプログラムも、ベトナム語以外の言語によるプログラムも開講していない。

### (3) Tra Vinh University

#### 1) 背景

Tra Vinh University (TVU) は、公立の大学で、メコンデルタに位置する Tra Vinh 省において最大の教育機関である。TVU はベトナム政府の発令 No 141/2006/QĐ-TTg 条の下、2006 年 6 月 19 日に設立された。同学への留学生の在籍はなく、海外支部はあるが、留学制度は行っていない。

#### 2) 学習単位制度

同学では 2 学期制を取っていて、第 1 学期は 9 月から 1 月にかけて、第 2 学期は 2 月から 5 月にかけて開講される。ほとんどの学科において、学部課程を修了するには 4 年間の在籍が必要とされる。学部課程を修了するには最低限でも 130 の単位数が必要とされる。卒業するのに必要な必須科目の平均的な履修単位数は各講義によって異なる。

1 つの講義に対する一般的な単位数は 3-4 で、学科間によって特殊な違いはない。学習単位数は授業時間と、課題そのもの量によって算出される。新設される講義の単位数は教育省の基準によって決定される。審査の際に考慮される項目は授業、議論、そして研究である。

現時点まで、海外の大学から単位を編入した学生はいない。現在、TVU は Vancouver Island University と協定を結んだプログラムを運営している。このプログラムは経営学科の学生に研修制度を提供するもので、2+2 プログラムと呼ばれている。というのも、TVU の経営学科在籍の生徒は最初の二年間で所定の単位数の基準を満たした場合は残りの二年間を Vancouver Island University で履修可能、という制度だからである。

単位編入については、学科間に違いは生じない。全ての事案において大学が定めた基準に従わなくてはならない。各講義の単位数はコースカタログ上と講義の時間割上にて確認可能である。各講義の単位数はコースカタログ上にもウェブサイト上にも掲載されていない。各講義の単位数はシラバス上に明記されている。各講義の単位数は成績表上に学習の記録として残されている。

#### 3) 評価制度

学生は A から F までのレターグレーディングによって評価される。8.5 から 10 点が A、7 から 8.5 点未満が B、5.5 から 7 点未満が C、5 から 5.5 点未満が D、それ以下が F に匹敵する。大学は「絶対評価」の制度を使用し、したがって受講学生の全体的な成績の分配は考慮の対象外である。前記の例のように、教員は各講義を受講する事によって期待される学習的結果を明記する事を大学側から求められている。しかし、実際には教員の多くが学生の学習の成果を測る基準として、各講義の目的に沿ってどの程度（あるいは、全くにおいて）学生が学習したか、あるいは各講義によって与えられた知識と技術を経験として学

習できているかということを見落としがちである。

教員は期末試験後の 2-3 週間の内に大学の期末試験事務局に結果を提出することが求められている。

現段階で、同校は学部課程のみの開講であるので、大学院課程との比較審査を行うことができない。

同学は GPA システムを使用しない。従って、GPA は学生の就職活動やさらなる進学に大きな影響を齎すことはない。現段階では TVU はベトナム国内の他の大学との協定関係や、留学プログラムは持っていない。

#### 4) 国際的なカリキュラム

ベトナム語以外の言語で開講されている国際的な学習過程は開講していない。よって、このような国際的なカリキュラムを発足するには言語的な壁が予想される。

### (4) その他の大学の概要

#### 1) ベトナム国家大学ハノイ国際外国語大学 (Vietnam National University, Hanoi, University of Languages and International Studies)

1955 年設立。9 つの学部からなり、学士、修士、そして博士課程が設置されている。現在の学生数は学士が 5450 人、修士が 800 人、博士が 41 人、そして留学生は 425 人が在籍している。国際室は日本、米国、豪州、ニュージーランドにあり、交換留学プログラムもある。英語、フランス語、中国語、ロシア語など外国語による授業も開講されている。

#### 2) ハノイ工科大学 (Hanoi University of Technology)

1955 年設立。25 の学部からなり、学士、修士、博士の教育課程がある。学生数はおよそ 40,000 人。国際室、交換留学プログラムもある。また英語で開講されている授業科目はある。

#### 3) ベトナム林業大学 (Vietnam Forestry University)

1965 年設立。5 つの学部からなり、学士、修士、博士の教育課程がある。学生数は、学士が 7200 人、修士が 610 人、博士が 29 人である。また留学生は学士に 4 人、修士に 3 人、博士に 1 人の合計 8 人が在籍している。国際室、交換留学プログラムも有り、開講言語が英語の授業科目はある。

#### 4) ベトナム国家大学ハノイ工業技術大学 (Vietnam National University, Hanoi University of Engineering and Technology)

2005 年設立。4 つの学部があり、学士、修士、博士の教育課程がある。現在の学生数は学士が 2000 人、修士が 460 人、博士が 55 人在籍している。国際室、そして交換留学プログラムも有る。またコンピューター専攻、電子・通信工学部では英語で開講されている授業がある。

#### 5) 郵政電信工芸学院 (Posts and Telecommunications Institute of Technology)

郵政電信工芸学院は 1997 年設立。11 の学部があり、学士、修士、博士の教育課程がある。学生数は、学士が 1200 人、修士が 80 人、博士が 10 人である。また留学生では学士に 334 人、修士に 4 人の計 38 人が在籍している。授業の開講言語には英語とラオ語によるものもある。

## 参考文献

An Giang University Website (<http://feba.agu.edu.vn/?q=vi/node/43>)

MOET(2007) Regulations for training according to credit system (単位制度に依る教育課程に関する規則)

Tra Vinh University Website (<http://www.tvu.edu.vn/en>)

University of Technical Education Ho Chi Minh City Website  
([http://www.hcmute.edu.vn/feee/DT\\_VienThong.html](http://www.hcmute.edu.vn/feee/DT_VienThong.html))

## 注

---

<sup>1</sup> 例として、<http://www.coltech.vnu.edu.vn/>参照。

<sup>2</sup> [http://www.hcmute.edu.vn/feee/DT\\_VienThong.html](http://www.hcmute.edu.vn/feee/DT_VienThong.html) 参照。

<sup>3</sup> <http://www.hcmute.edu.vn/phongdaotao/quiche.asp> 参照。

<sup>4</sup> <http://feba.agu.edu.vn/?q=vi/node/43> 参照。

<sup>5</sup> <http://feba.agu.edu.vn/sites/feba.agu.edu.vn/files/u5/Tinh%20diem%20tu%20don%20vi%20hoc%20trinh%20sang%20he%20thong%20tin%20chi.pdf> 参照。